



2017年3月3日  
イオン株式会社

イオン株式会社が事業継続マネジメントシステムの国際規格

# 「ISO22301」認証を取得

ショッピングセンターをプラットフォームに国内総合小売業で初めて取得

イオン株式会社は、2017年2月に、ショッピングセンターをプラットフォームに本社機能と店舗を含めた取り組みとして国内総合小売業で初めて、事業継続マネジメントシステム（BCMS）の国際規格「ISO22301」認証を取得しました。

「ISO22301」とは、2012年に施行された認証制度で、地震・洪水・台風などの自然災害をはじめ、システムトラブル・感染症の流行・停電・火災など、さまざまなリスクが現実となった場合に備えて、それらのリスクが事業に与える影響を最小化するための対策を立案し、効率的かつ効果的に対応するための事業継続マネジメントシステム（BCMS）の国際規格です。

イオングループは、予てより巨大地震や津波を想定した大規模な防災訓練を継続して実施するなど、事業継続への取り組みを積極的に進めてまいりました。2016年3月より「イオングループBCM（事業継続マネジメント）5カ年計画」を策定するとともに、イオングループ各社と外部パートナーが連携をし、災害対応や組織にとって重要な事業の継続能力を維持・改善させるための活動を推進する「イオンBCMプロジェクト」を組成し、様々な取り組みを着手してまいりました。

この度の認証取得は、BCMに関わる活動が経営と密接に結びついた形で実施され、効果的・効率的に運用されるようにするための仕組みの整備・運用を目指し取り組んだものです。

2016年4月に発生した「平成28年熊本地震」では、イオングループの商品調達力や物流網を活用して発災直後から熊本県や熊本市などの地域行政や陸上自衛隊、日本赤十字社を含む11団体からの緊急物資要請に対応し、約530万個の支援物資を迅速に供給しました。避難所までの輸送においては、日本航空や陸上自衛隊など外部パートナーとの新たな連携・協力体制を構築し、支援活動を実施しました。

また2016年7月には、内閣官房「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」にもとづく、第1回レジリエンス認証を取得しました。

今回、上述の取り組みなど、グループでの様々な取り組みが国際規格「ISO22301」の事業継続マネジメントシステムの基準を満たすものとして、グループ危機管理業務とイオンモール幕張新都心におけるショッピングセンターの運営及び管理業務、総合小売業、総合ファシリティマネジメントサービスを活動登録範囲とし、本社機能と店舗を含めた取り組みとしては国内総合小売業で初めて認証を取得しました。

イオンは、「お客さまを原点に平和を追及し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと、絶えず革新続ける企業集団として、今後も事業継続への取り組みを積極的に推進するとともに、有事の際にも暮らしを支え、地域を支えるライフラインとしての社会的責任を果たしてまいります。

【認証の概要】

登録事業者	イオン株式会社
登録証番号	JQA-BC0031
認証規格	ISO 22301:2012 / JIS Q 22301:2013
認証機関	一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)
認定機関	一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)
登録日	2017年2月20日
登録活動範囲	グループ危機管理業務とイオンモール幕張新都心におけるショッピングセンターの運営及び管理業務、総合小売業、総合ファシリティマネジメントサービス <関連事業所> ・イオン株式会社 グループ総務部 ・イオン株式会社 グループ総務部 イオン小牧危機管理センター ・イオンモール株式会社 イオンモール幕張新都心 ・イオンリテール株式会社 イオンスタイル幕張新都心 ・イオンディライト株式会社 幕張新都心第一センター

【取り組みの一例】



イオン店舗施設での外部連携防災訓練  
(イオンモール幕張新都心)



日本航空(株)との協業による  
被災地への支援物資の輸送



地震発生翌日の店頭販売の様子  
(イオン熊本店)